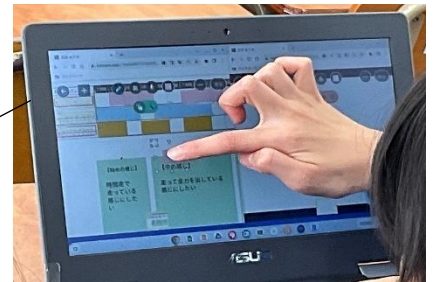


< 授 業 記 録 >

教師の発問・児童（生徒）の反応	学習の様子
<p>1 前時の学習を振り返り、本時のめあてをつかむ。（14：10）</p> <p>T：これまでにいろいろなリズム遊びをしてきましたね。 では、これから先生の合図で手拍子を打ちながら、それがどんな表現になっているか考えてみましょう。</p> <p>T：（左右のグループを交互に指し示すジェスチャーをする） S：（左右のグループ交互に手拍子） あっ、追いかっこだ！ S：呼びかけとこたえになっている。</p> <p>T：そうですね、前の時間に「キリマンジャロ」で「呼びかけとこたえ」を学習しましたね。「呼びかけとこたえ」は何に似ていますか。 S：（キリマンジャロを歌いながら）「かくれんぼ」に似ている。 S：「もういいかい」「まあだよ」を表しているみたいだね。</p> <p>T：呼びかけたりこたえたりして、会話している様子を表せそうですね。（同じように「繰り返し」や「音の重なり（増える、減る）」についても手拍子を打ち、感じ取ったことを児童に確認し教師が板書）</p> <p>T：「呼びかけとこたえ」や「繰り返し」を「音楽の仕組み」と言います。「音楽の仕組み」を使えば、みなさんがイメージした音楽が、もっと相手に伝わる音楽になりそうですね。</p> <p>T：では、今日のめあてを考えましょう。 （児童のつぶやきを拾いながらめあてを設定する）</p> <div style="border: 1px solid orange; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p><めあて> 音楽の仕組みを生かして、つなげ方や重ね方を工夫して自分たちのイメージに合ったリズムアンサンブルをつくろう。</p> </div> <p>2 音楽の仕組みの働きを生かして、グループでイメージに合ったリズムアンサンブルをつくる。（14：22）</p> <p>（リーダーのタブレットを使い、相談したことを書き込みながら、グループごとに自分たちのイメージに合うリズムアンサンブルづくりをする）</p> <p>S1：「初め」の部分は、走っている感じにしたいんだよね。 S2：細かいリズムの担当のAさんが繰り返したらどうかな。 S3：そうだね、それで4回目にみんなで重ねるようにしたらどう？ バラバラに走ってきて、ここでみんなが一緒になった感じで。</p> <p>S1.2：いいね、いいね。じゃあ、ここまで打ってみよう。（打つ） S1.2.3（拍手）できてきたね。録音して聴いてみよう。（廊下へ移動） （指導者が廊下に準備したタブレットを用いて、つくったリズムアンサンブルを録音し、聴いて確かめる）</p> <p>S1.2.3（リズムアンサンブルを録音して聴いてみる）</p> <p>S1：うん、イメージ通りだね。 S2：「終わり」はラストスパートを表したいね。全力疾走しているような感じで。 S3：細かい「タタタタ」のリズムを、みんなで重ねて、強く打つのはどうかな？</p> <p>S1：うんうん、やってみよう。 S1.2.3（録音して聴いてみる） （「考えたことを試しては聴く」流れを繰り返して、自分たちの納得のいく音楽を見付ける）</p>	       

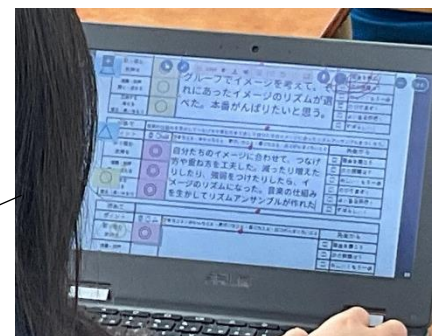
3 中間発表をする。(14:35)

- T:では、これからBグループに発表をしてもらいます。
このグループは「音楽の仕組み」のうちのどれを使っているのかを考えながら聴いてみましょう。(発表、拍手)
- T:どうですか、どんな「音楽の仕組み」を使っていましたか。
- S:「増える」と「減る」だね!
- T:そうですね、「増える」「減る」の音の重なり方を使っていますね。他にも気付きましたか。
- S:途中は「繰り返し」を使っていて、最後に、「減る」感じがしたよ。
- T:このグループは、どうして「繰り返し」を使ったの?
- S4:繰り返すことで、激しい気持ちを表そうと思いました。
- S5:それで最後は音を減らして、気持ちをリフレッシュ、みたいにしました。
- T:なるほど、こんなふう理由をもって「音楽の仕組み」を使うと、自分たちのイメージが相手に伝わる音楽になりますね。
- T:では今の発表を参考にして、あともう少しの時間、グループで自分たちのイメージに合うリズムアンサンブルを考えてみましょう。
(グループに分かれて活動を再開する)
- S1:全力疾走したあとは疲れるから、疲れた感じを表せるといいな。
- T:疲れているんだね。じゃあ、音は増やした方がいいかな、減らした方がいいかな。
- S2:減らした方がいいと思います。
- S3:じゃあ、8回目あたりで音を減らして疲れた感じを出して・・・。
- S1:10回目で元気を取り戻すことにしよう。
- S2:それで、最後はゆっくり演奏すると終わった感じになるかな。
- S3:最後は全員で重ねよう、みんなでゴール。
(最初から通してリズム打ちしてみる)
- S1:いいね。
- S2.3:イメージに合うようにできたね。



4 本時のまとめをし、学習内容の振り返りをする。(14:45)

- T:自分たちのイメージしたリズムアンサンブルをつくるには、何を使えばよかったですか。
- S:「繰り返し」とか、「呼びかけとこたえ」とか・・・。
- T:そうですね。「音楽の仕組み」を使うとよかったですね。実は「音楽の仕組み」以外にも、「ここは強く打ちたいんですけど」とか考えている人がいましたね。(「強弱」のカードを指し示し、他の要素にも着目していることを確認する)
- T:それから手拍子では表現に限界があるリズム、ありましたね。
- S:そうそう、ターって長く伸ばすリズム。
- T:そういう時、どんな工夫ができそうかな。これを聴いてみてください。(楽器を使った、教師作成のリズムアンサンブルの音源を再生する)
- S:そうか、楽器を使えばいいね。
- T:次の時間は、楽器を使って「音色」も工夫しながら、自分たちのイメージがさらに伝わる表現を考えていきましょう。



<児童の振り返り>

- ・自分たちのイメージに合わせて、つなげ方や重ね方を工夫した。
- ・減らしたり増やしたり強弱をつけたりしながら、音楽の仕組みを生かしてリズムアンサンブルが作れた。

